



◎回覧をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

「目をかければ人は必ず育つ」

～「ピグマリオン効果」について～

峡東教育事務所副所長 一之宮 英文

5月の連休中、外山滋比古氏の『思考の整理学』(ちくま文庫)を読みました。30年近く前に発表されたこの作品は、現在100万部を突破するほどのベストセラー本となっており、特に大学生に愛読されているそうです。

この本の中で私が一番印象に残った箇所が、アメリカのローゼンタール(ハーバード大学)という心理学者の実験の一節でした。

その実験とは次のようなものでした。

「40人の生徒のいるクラスを20人ずつ二つのグループ「A」「B」に分ける。学力は「A」「B」平均して同じようにしておく。まず、第1回のテストをする。Aグループには採点した答案を返すが、Bグループの答案は見せしないで教師が一人一人生徒を呼んで、「テストの成績はよかった」と告げる。もちろん、でたためである。

しばらくして、第2回のテストをする。前と同じようにAグループには点のついた答案を返し、Bグループには一人一人を呼び出して、「今度もよくできていた」と、答案は見せず返さずに伝える。生徒はいくらか不審に思うが、ほめられるのは悪くない。あまりうるさいせんさくはしないでそのままにしてしまう。

こういうことを何度か繰り返した後、今度は全員の答案を採点、「A」「B」両グループの平均点を出してみる。すると、ほめていたBグループのほうがAグループより点が高くなっている。」

このような「期待する(ほめる)ことによって、相手もその期待に応えるようになる。」という現象を「ピグマリオン効果」とよんでいます。また、このような効果が起こる理由を別な本でさらに調べてみると、ローゼンタールは、人は常に相手の期待に対し最も敏感に反応するからと説明しています。実は、この本を読むまで、私自身「ほめる」ことの重要性については理解していたものの、「ピグマリオン効果」なるものに関わっていたことを全く知りませんでした。

さらに調べてみると、この効果は子どもたちに限らず、私たち大人にも、また、プライベートや仕事においても期待できるものであると言われています。皆さんにも経験があると思いますが、

他の人から信頼されたり期待されたりすると、それに応えようがんばれる、そしてもちろんがんばればきちんとそれには結果がついてくることになります。

さて、私は、この「ピグマリオン効果」なるものが、特に親子の関係において、我が子の可能性に対して、親がまず肯定的な確信をもつことが何よりも大切ではないかと思っています。

「この子はいいい子だ。」「素晴らしい子だ。」「優しい子だ。」「思いやりのある子だ。」「能力のある子だ。」「センスのいい子だ。」と確信して育てていけば、だんだんそうになっていく。しかし、子どもにあまりに過度の期待をかけすぎてしまい、「しかる」ことが多くなり、「この子はいまひとつかもしれない」と思い始めれば、子どももだんだんそうになってしまいます。

今の時代は、子育てがとてもせわしないものになってしまったように思います。昔のようにのんびりと子育てをしていられない環境のため、親のプレッシャーや焦りは相当なものがあると思われます。そして、知らず知らずのうちに「あれしなさい、これしなさい。」と自分の思いを押しつけ、子どもから可能性を奪っていくことになりかねません。我が子への親の思いは、ちょっとした言葉の端々やふと見つめた目の輝きの中に、現実に現れるからです。

本当の意味で子どもたちの力を伸ばしてあげられるのは親だと思います。一番そばにいるお父さん、お母さんが子どもたちの一番の理解者であり、そのお父さん、お母さんの理解があつてこそ子どもたちは安心の中で成長し、伸びていくのだと思います。もちろん、地域の皆さんや教師もその役割を担っていますが、それはほんの一端で、あくまで脇役であり応援者にすぎません。

私も応援者の一人として、子どもたちへの指導や教育事務所での仕事において、「ピグマリオン効果」が発揮できるよう、一人一人の可能性を信じて接していくよう心がけていきたいと思ます。皆さん、お互いがんばりましょう。

うまくいっていますか…あなたの子育て

県では子育てや親子関係について、親が楽しみながら主体的に学ぶことのできる教材として、ワークシート形式の「やまなし『親』学習プログラム」を作成し、幼稚園・保育所・小中学校・高等学校・特別支援学校に冊子でお配りしてあります。各学校の学級懇談等で積極的に活用してください。冊子を使った学習会を実施する際には、子育ての講師を利用することも出来ます。講師の紹介もしていますので、担当にご連絡ください。

また、各地域で子育ての講師を利用することが出来ます。地域で冊子が必要な方や講師の利用についてお知りになりたい方は、下記まで連絡をお願い致します。



連絡先 山梨県教育庁社会教育課 成人・家庭教育担当 山下 初美

電話 055-223-1772(直通) F A X 055-223-1775

E-mail yamashita-atsk@pref.yamanashi.lg.jp

塩山カトリック幼稚園 親子タグラグビー教室

5月26日の甲州市チャレンジデーにあわせて、甲州市の塩山カトリック幼稚園では親子タグラグビー教室を開催しました。タグラグビーは、タグという2本のひもを腰に付け、タグを取られないようにしながら、ボールをパスし相手ゴールを目指すスポーツです。当日は、山梨県ラグビーフットボール協会から3人のコーチを招き指導していただきました。園児にもできるよう、コーチ達が内容を工夫し、初心者の方でも遊び感覚で楽しめるものばかりでした。



タグ取り鬼ごっこは、チーム対抗で行います。自分と違う色のタグを付けている人のタグを取るゲームです。園児たちは、お父さんやお母さん、友だちのタグをねらい、園庭を走り回っていました。また、自分の顔より大きいボールをもって、コーン代わりの保護者の横を、タグを取られないように走り抜けるゲームでは、自分の順番を待っている園児が、プレーしている友達に「〇〇ちゃん、がんばってー」と、元気いっぱい声援を送っていました。



塩山カトリック幼稚園の「一人ひとりが神さまからいただいた力を発揮し、神と人に対して信頼と感謝の心を持ち、自分で判断し行動できる人になる」という教育理念のもと、仲間や異年齢児と共にいろいろな活動をする中で、豊かな感性、社会性等も培われていくのだと感じました。

2010版「峡東地域教育連携活動紹介」完成!

隔年発行している22年度版「峡東地域教育連携活動紹介誌」が、管内小中学校のご協力を得て、この度完成しました。

「峡東地域教育連携活動紹介誌」は地域・学校・家庭が連携し協力して、子どもたちのより良い育ちを支援していくために作成しました。紹介されている事例は、いずれも地域社会に根ざした各校のすばらしい実践です。本誌を大いに活用していただいて、地域ぐるみで子どもを育てる地域連携活動が、ますます展開されていくことを願っています。また、峡東教育事務所のHPにも地域ごと掲載しています。

2010(平成22)年度版
峡東地域教育
連携活動紹介誌



平成22年峡東地区子育て講演会ご案内

「子育ては、親育てから」

— 甲斐の国の人々の生き方を伝えよう —

講師 岩手県立図書館総括責任者 小林是綱氏

プロフィール 中道町生まれ 大泉金田一春彦記念図書館前館長
山梨ことばの会代表 笛吹市常徳寺住職
NPO地域資料デジタル化研究会理事長



講演会詳細

- | | |
|---------|---|
| 1. 日時 | 平成22年7月1日(木) 受付 午後2時00分～
開会 午後2時30分 閉会 午後4時30分 |
| 2. 場所 | 山梨市民会館 「千鳥の間」 |
| 3. 申し込み | 峡東地域各保幼・小・中・県立学校、峡東教育事務所まで、お申し込み下さい。メールも可能です。また、当日の参加も可能です。不明な点は、下記担当までお問い合わせ下さい。 |
| 4. 主催 | 峡東地域教育推進連絡協議会 山梨市教育委員会 峡東教育事務所 |
| 5. その他 | 駐車場に限りがありますので、なるべく乗り合わせてお越し下さい。 |
- 問い合わせ 峡東地域教育推進連絡協議会(峡東教育事務所内) 石原 田之口 平山
TEL 0553-20-2731 FAX 0553-20-2733
E-mail tanoguchi-ayyn@pref.yamanashi.lg.jp

中学校市・郡総合体育大会 《笛吹・東山梨》

6月9・12・19日の3日間にわたり、笛吹市・東山梨地区において、中学校の総合体育大会が行われました。取材日の9日は、朝から雨が降っていましたが各会場には、早くから部員たちが集合し、自分たちの試合の準備や調整を行っていました。部員たちはこの日のために、放課後や休日の練習に励んできました。3年生にとって、これが最後の公式試合となる部、試合メンバーぎりぎりの部員のため、次の新人体育大会に出場できないかもしれない部もあり、選手たちの表情は真剣で、緊張感が伝わってきました。

「一つでも多く勝ち、学校へ優勝旗を持って帰るぞ。」「県の総合体育大会の出場枠を獲得したい。」という熱い思いを胸に、力の限りプレーしている姿・声がかかるほど応援している部員の姿が印象的でした。

どの試合会場でも、生徒のみなさんが他校生や応援の保護者にも「こんにちは」と気持ちのいい挨拶を交わしていたこと、自転車の駐輪がきちんと整列されていたことに、技術だけでなく、日頃から礼儀やマナー等も重んじて活動している様子がかがえ、うれしく思いました。また、平日開催に関わらず、多くの保護者の応援に驚きながらも、お子さんたちの活躍する姿にエールを送りたい「親心」も感じる事ができた大会1日目でした。





体育局の活躍

<陸上部>

山梨県総合体育大会において三井聖也くん（勝沼中出身園芸科2年）が走り幅跳びに大会新記録で優勝し100mでも5位に入賞しました。関東大会では沖縄インターハイ出場を目指します。【走幅跳 優勝 7m08cm 大会新記録】 【100m 5位 記録10秒93】

山梨県陸上競技選手権（5月29日）

三井聖也 走幅跳 第2位 7m12cm

神田侑香 女子5000m 第5位 20分52秒

2名は8月20日から埼玉県で開催されるが関東陸上選手権に出場資格を得ました。

<相撲部>

関東大会予選 団体戦3位で6月12日から関東大会（神奈川県）に出場します。

文化局の活躍

<すいれき太鼓部>

日本太鼓ジュニアコンクール特別賞

3月21日 第12回日本太鼓ジュニアコンクールで特別賞の朝野太鼓賞を受賞しました。創部12年目にして全国で入賞することができました。

第30回山梨県高校芸術文化祭郷土芸能部門「すいれき太鼓部」が最優秀賞に輝きました。今年8月3日から宮崎県小林市で行われる全国高校総合文化祭郷土芸能部門に参加します。



<写真部>

清水杏里砂さん（食品化学科2年）

第30回山梨県高校芸術文化祭個人優秀賞

RUN PAST デジタル・カラー・単写真

8月1日から宮崎県宮崎市で開かれる、第34回全国高等学校芸術文化祭写真部門への作品として出品・選考されます。上位入賞を期待しています。

山梨園芸高校



【園芸科派遣実習】

5月25日～26日2年生の園芸科の生徒たちが、先進農家で実習をさせて頂くというとても貴重な体験です。近隣の農家の皆様のご協力の下、今年も実習させていただきました。この派遣実習も今年で10年目になります。ご理解ご協力ありがとうございました。

【Welcome 笛吹】～花で迎えよう山梨へ～

山梨園芸高校では、地域の方々や山梨を訪れた方々に少しでも潤いを感じていただこうと平成19年より石和温泉駅および駅周辺、通学路等に生徒が育てた花を飾る事業を展開しています。今年度は6月18日（金）に全校で植えつけ作業を行い設置を開始します。



【山梨園芸高校体験講座】

第1回目5月29日（土）〈オリジナルの時計をつくろう〉が開催されました。体験を通じた親子のふれあいが感じられました。今後5回の講座が予定されています。締め切りを過ぎましたが人数に空きがある講座は受講可能です。係にお問い合わせください。

日程	講座の内容（テーマ）
1 5月29日（土）	オリジナルの時計をつくろう
2 6月26日（土）	お菓子作り
3 10月2日（土）	そば打ち体験
4 10月16日（土）	テーブルパンを作ろう
5 11月27日（土）	リースづくり
6 12月18日（土）	クリスマスケーキを作ろう



第1回5月29日（土）オリジナルの時計をつくろう

*今回から、県立学校の日頃の活動の様子を地域に提供する目的で、1校ずつ紹介していきます。次回は日川高等学校です。